

みうらわん
三浦湾地区広域漁港整備事業 ～マグロ養殖拠点漁港の整備～

位置図



- 対馬の好漁場に近く、陸揚げや給氷の拠点
- 湾内のマグロ養殖増加に向け、作業基地として注目

事業主体：長崎県
総事業費：1,760百万円
実施期間：H21～H23
B/C=1.58
B=2,573百万円
C=1,632百万円

浮棧橋利用時における安全性を確保するため防波堤を新設

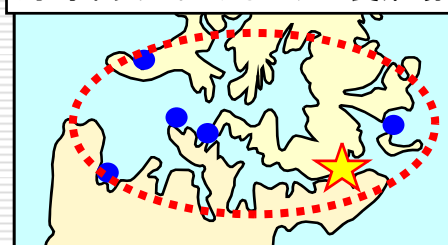
係留施設(浮棧橋)へのアクセス確保のための道路整備

マグロ養殖作業や外来漁船の陸揚げ・給氷のための係留施設(浮棧橋)の新設



長崎県マグロ養殖振興プラン
マグロ養殖を4倍に
(500t→2000t)

対馬中央におけるマグロ養殖場



みうらわん
三浦湾地区広域漁港整備事業 ～マグロ養殖拠点漁港の整備～

課題

○安全かつ円滑に利用できる係留施設が不足しているため、マグロ養殖作業や外来漁船の利用等を拡大することができない

整備による直接効果

○係留施設を整備することで、以下の効果が見込まれる

・マグロ養殖作業の効率化により、美津島漁協において約5割の養殖規模の拡大が見込まれる

・現在島外から運搬している餌用サバの一部を、周辺の定置網等の漁獲から補うことが可能となり、県漁連の餌の販売手数料の増加が見込まれる

・現在、利用要望のある36隻の外来漁船が陸揚げや給氷を行うことが可能となり、氷の販売額や陸揚げ手数料の増加が見込まれる

直接効果額

・マグロ養殖の拡大による生産額等増加効果
年間205百万円

・餌用サバの販売手数料の増加効果
年間0.2百万円

・氷の販売額の増加効果
年間29百万円

・外来漁船のイカ陸揚げにかかる手数料増加効果
年間13百万円

計247.2百万円

みうらわん
三浦湾地区広域漁港整備事業 ～マグロ養殖拠点漁港の整備～

直接効果をもとに、長崎県中対馬圏域の産業連関表を用いて、経済波及効果を算定

